

三浦市 津波ハザードマップ

～初声地区～



三浦市は三方を海で囲まれたまちであり、津波に対しては、東日本大震災を教訓に万全な対策を取らなければなりません。その一環として、このたび「三浦市津波ハザードマップ」を改訂しました。
「三浦市津波ハザードマップ」は、神奈川県の設定した津波浸水想定をもとに、発生すれば甚大な被害をもたらすおそれがある津波を想定し、浸水すると予測される区域を示したうえで、避難所や標高などの情報を加えたマップです。
このハザードマップの活用方法は以下のとおりです。ご家庭や地域において津波発生時の避難対策としてぜひご活用ください。

津波ハザードマップの活用方法

- ・一時的な避難場所（高台）の標高を調べましょう。
- ・地域の避難所の場所と標高を調べましょう。
- ・高台から避難所への経路を調べましょう。
- ・地域の避難訓練などで活用しましょう。
- ・浸水地域、避難場所、標高等を確認し、地域の防災マップを作成しましょう。

津波の時に避難する高台は・・・

避難する高台を記入しましょう。

津波注意報の解除など、津波の収束を確認できたら

地域又は付近の「避難場所」へ移動する。

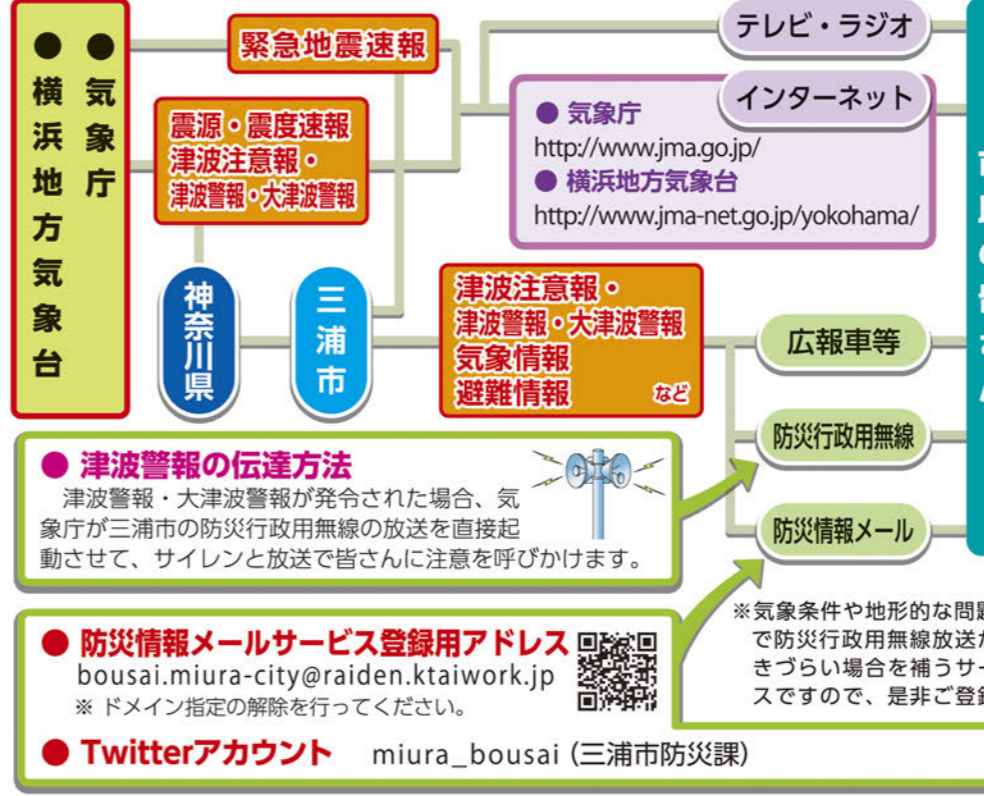
家族が集まる地域の「避難場所」は・・・

避難場所を記入しましょう。

こちらに記入し、ご家庭内での避難先の確認や、別々に避難した時の合流場所を共有するために活用しましょう。

防災情報の伝達経路

防災情報は各機関から下のような経路で伝達されます。
市民の皆さんは、防災行政無線・防災情報メール・テレビ・ラジオ・インターネットなどを活用して情報収集をしてください。
また、避難先でもこれらの情報が受け取れるように備えましょう。



津波予報の種類

地震発生後に津波の発生が予想される場合、気象庁は津波注意報または津波警報、大津波警報を発表します。

避難区分	津波予報の種類	予想される津波の高さ	巨大地震の場合の表現
避難準備・高齢者等避難開始	津波注意報	1m	表記しない
避難勧告	津波警報	3m	高い
避難指示(緊急)	大津波警報	5m、10m、10m超	巨大

災害時の連絡方法

「171」災害用伝言ダイヤル

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。
録音された伝言は、被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。
※提供開始や録音回数、提供条件についてはNTTで決定し、テレビ・ラジオ等でお知らせします。

NTT東日本 災害用伝言ダイヤル <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

【災害用伝言ダイヤル「171」体験利用提供日】
・毎月1日00:00～24:00
・防災週間(8月30日9:00～9月5日17:00)
・防災とボランティア週間(1月15日9:00～1月21日17:00)

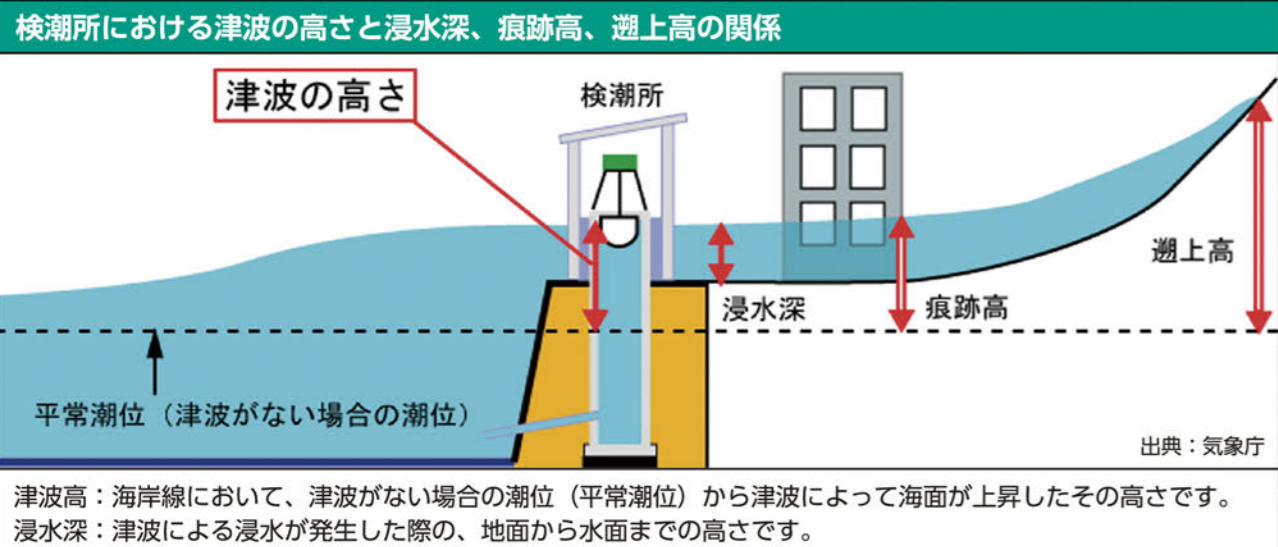
携帯電話 災害用伝言板サービス

NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

au by KDDI <http://dengon.ezweb.ne.jp/>

ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>

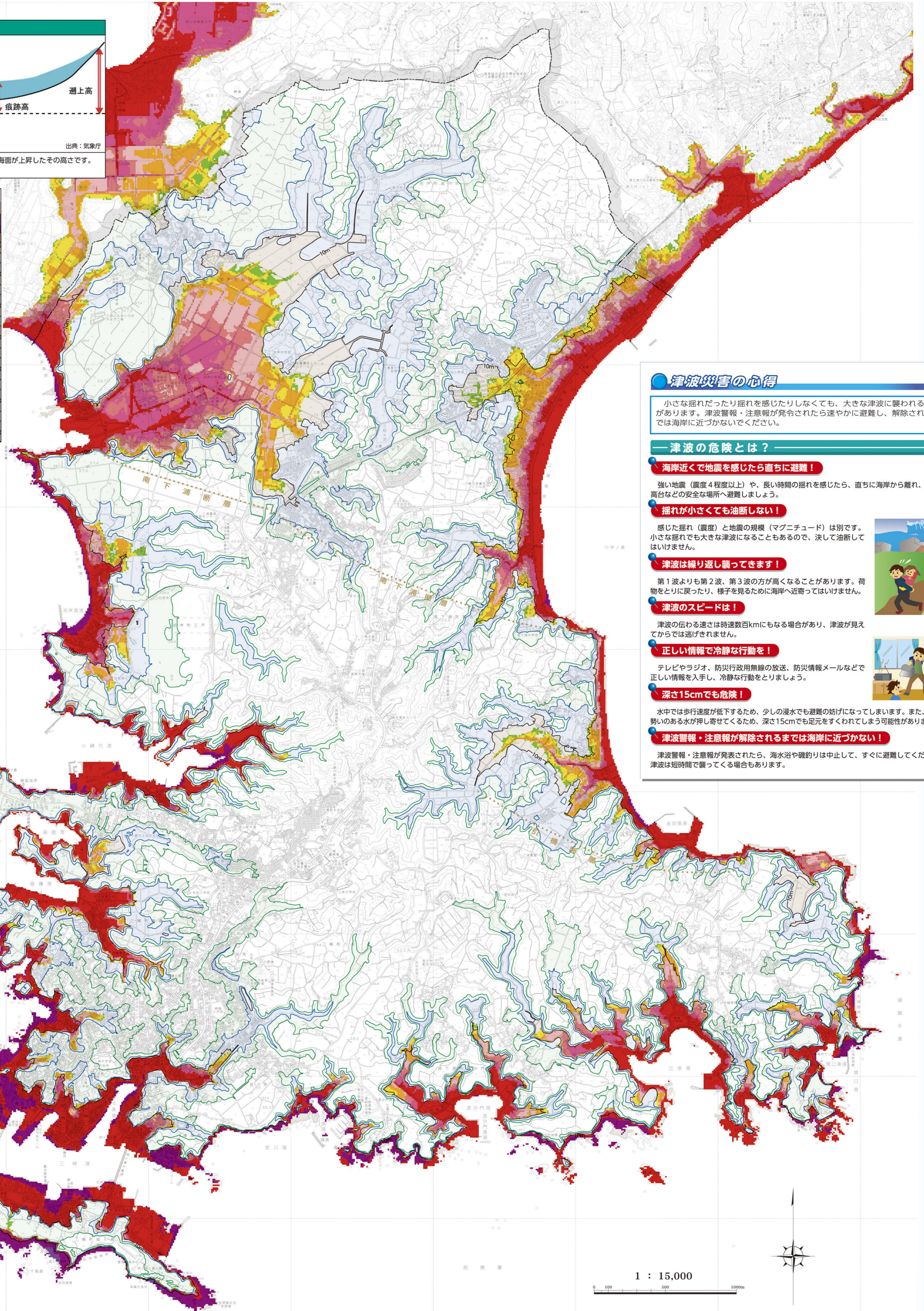
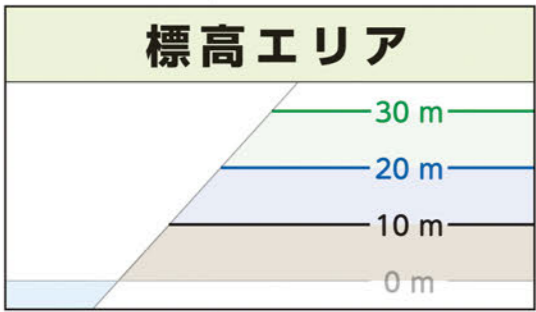
三浦市役所 総務部防災課
〒238-0298 三浦市城山町1番1号
TEL 046-882-1111 FAX 046-864-1166
E-mail: gouseikanri1001@city.miura.kanagawa.jp
平成30年12月発行



津波による浸水の見方

浸水深(m)	高さの目安と危険度
20.0m以上	
10.0～20.0未満	10m以上で、3階建ての建物(3階部分まで)が完全に水没します。
8.0～10.0未満	5m以上で、2階建ての建物(2階部分まで)が水没します。
4.0～5.0未満	3m以上で、木造家屋のほとんどが全壊します。
3.0～4.0未満	2m以上で、木造家屋の半数が全壊します。
2.0～3.0未満	1m以上で、津波に巻き込まれる場合、ほとんどの人が亡くなります。
1.0～2.0未満	0.3m以上で、避難行動がとれない状況になります。
0.3～1.0未満	
0.01～0.3未満	

※ 津波の想定高さ、浸水は神奈川県が作成した津波浸水予測図をもとに作成しており、実際の津波は想定より高くなる場合もあります。



津波災害の心得

- 小さな揺れでも大きな津波に襲われることがあります。津波警報・注意報が発令されたら速やかに避難し、解除されるまでは海岸に近づかないでください。
- 津波の危険とは？
- 海岸近くで地震を感じたら直ちに避難！
強い地震（震度4程度以上）や、長い時間の揺れを感じたら、直ちに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。
- 揺れが小さくても油断しない！
感じた揺れ（震度）と地震の規模（マグニチュード）は別です。小さな揺れでも大きな津波になることもあるので、決して油断してはいけません。
- 津波は繰り返し襲ってきます！
第1波よりも第2波、第3波の方が高くなる場合があります。荷物をとりに戻ったり、様子を見るために海岸へ近寄ってはけません。
- 津波のスピードは！
津波の伝わる速さは時速数百kmにもなる場合があり、津波が見えたら逃げ遅れられません。
- 正しい情報で冷静な行動を！
テレビやラジオ、防災行政無線の放送、防災情報メールなどで正しい情報入手し、冷静な行動をとります。
- 深さ15cmでも危険！
水中では歩行速度が低下するため、少しの浸水でも避難の妨げになってしまいます。また、津波は勢いのある水が押し寄せてくるため、深さ15cmでも足をすくわれてしまう可能性があります。
- 津波警報・注意報が解除されるまでは海岸に近づかない！
津波警報・注意報が発令されたら、海水浴や磯釣りは中止して、速く避難してください。津波は短時間で襲ってくる場合もあります。

